

## 自分で考え、判断して主体的に行動できる児童・生徒

ねがい

### 〈目的〉

人間性豊かな児童生徒の育成の視点から小中学校の9年間を見通した、小中合同行事・活動の系統性を意識した指導の充実を図る。

### ● 中学校区全体で取り組むあいさつ運動（さめきっ子あいさつ運動）

つながり

校区内の児童会・生徒会・教員・PTAなどがタイアップして、校内や通学路であいさつ運動を行っています。

この際、小学生・中学生に関係なく、双方が積極的に声かけを行います。また、これを機会に各学校の児童会・生徒会が主体となって、独自のあいさつ運動を継続的に実施しています。そして、その結果を児童会・生徒会の情報交換会で報告しています。



【さめきっ子あいさつ運動をしている様子】

### ● ピカピカ清掃デーの実施

ピカピカ清掃デーを設定し、小学校の大掃除のときに、中学生が出身小学校を訪問し、清掃リーダーとして、小学生と一緒に清掃活動を行っています。

この活動を通して、中学生はリーダーとなる生徒の育成を目指し、小学生は将来の自分の目標とする姿を想像できるようにしています。また、この活動を次年度以降の小・中学校が連携しての地域ボランティアにつなげていきたいです。



【ピカピカ清掃している様子】

### ● 児童会・生徒会の間での情報交換会を実施する。(2月予定)

中学校生活のようすや学校のきまり、部活動などについての情報交換（※小学校から質問事項を募集しておくなど）を行い、その内容を生徒会が各小学校を訪問したり、児童会が聞いてきたことをまとめて発表したりすることで、小学6年生が安心して中学校に入学できるようにします。また、各学校のあいさつ運動（さめきっ子あいさつ運動）の様子についても報告を行います。

高まり

### 〈成果〉

児童・生徒の異年齢による行事は、交流の輪を広げ、小学生は中学生に対してあこがれを抱き、中学生は自己有用感が育つなど一定の成果を上げています。また、小学生においては中学校入学に対する不安の解消につながりつつあります。今後は、小・中学校での指導の基本的な考え方や姿勢を共有することが、さらに成果を上げていくことにつながると考えています。